

やまだんの 山田野

16

独立行政法人
国立病院機構 北陸病院
〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

春を待つ心で新たなる門出



3月11日、太平洋三陸沖を震源としたマグニチュード9.0の大地震は大津波、火災、原子力発電所の放射線漏れ等を引き起こし、戦後最大の犠牲者を出し、東日本大震災と名付けられました。このような中、災害支援として多くの方々の活躍が報道されている日々ですが、当院からも看護師2名が先立って水戸医療センターで医療活動にあたりました。また村田医師が4月4日より2週間、ひき続き副院長も4月末まで花巻病院で精神科の診療をする予定になっております。被災地の皆さまに対し心より一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、このような中、私ごとで恐縮ですが、この城端で初めての冬を過ごしました。都会育ちの私は、荘厳な雪景色に目を見張り、雪の中の動物の足跡や椿の花の鮮やかさにも感動を覚える日々でした。しかし、雪かきも初めての経験でした。日々の生活においても、外出することもままならず、自然と口ずさむ言葉は童謡でした。

「春よ来い、早く来い、あーるきはじめてみいちゃんが、赤い鼻緒のじょじょはいて、おんもへ出たいと待っている」この曲の作詞は相馬御風という方だそうです。相馬御風の故郷である新潟県糸魚川市は城端にも勝る？豪雪地帯だそうです。歩き始めたみいちゃんの視点を通じて、雪に閉ざされた越後で春を待ち望む人々の強い思いが伝わってくる歌とされています。私もみいちゃんと同様今年はいつにも増して春を待つ心で満ちております。

さて、北陸病院もこの春より新しい鼻緒のじょじょに履き替えて更なる歩みを進めようとしています。それは、院長が年頭のあいさつでも申し上げましたように「精神科と神経内科、一般内科が連携して社会に貢献できる医療を目指していく」ことです。今までも北陸病院は精神科医療の理想を掲げ、大道を歩いてまいりました。今後もそのあゆみにはなんら変わりはありません。しかし新たな医師を含め29名の職員を迎えることができる喜びは、春を待つ心で新たなる門出を待つ赤い鼻緒のみいちゃんの気持ちに重なっております。尚、25名の職員は北陸病院を旅立ち新天地で活躍をすることになっております。この春、新天地へ旅立つ職員と新たに北陸病院の職員になった方々の門出に春を待つ心で臨みたいと思う今日この頃です。

「春よ来い、早く来い、おうちの前の桃の木(病院の桜の木)つぼみもみんな膨らんで、はよ咲きたいと待っている」桜吹雪の北陸病院の春を新たなメンバーと共に見たいと待ち望む、今日この頃です。今後とも、北陸病院を皆様の暖かなまなざしで見守っていただけたら幸いと存じます。

また、看護師長会が中心となって義援金を集めました。春がこない年はありません。被災地の方々の心にも暖かな春の陽ざしが差し込むことを願ってやみません。

(総看護師長 菅野 和子)



ピカピカの一年生と新しい仲間たちから一言

★ 本年度16名の新しい仲間が加わりました！一部ご紹介します！

<p>医師</p>	<p>常重健一郎</p>		<p>好きな食べ物は～ リンゴっ！！</p> 
<p>作業療法士</p>	<p>松永鉄平</p>		<p>名古屋からやってまいりました～！ 富山のことはまだよくわかりませんっ！！ いろいろ教えていただけたら嬉しいです！ 今まで苦手だった冬のスポーツにも挑戦したいと思っています。</p> 
<p>PSW</p>	<p>白井浩史</p>		<p>地域医療連携室に配属になりました、“しらいひろふみ”です。 他職種の方々と協働・連携を図りながら患者様の多様なニーズに丁寧に 応えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>き～む～ち～～！</p>
<p>看護師</p>	<p>北本美穂</p>		<p>新しくわかかさ病棟に配属されることになりました。 なにもかもが初めてでドキドキしています。 この“ドキドキ”や“頑張ろう！”という気持ちを忘れずに、これから頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。</p> 
<p>看護師</p>	<p>島聡美</p>		<p>1病棟に配属になった島です。 点滴など技術面で不安がたくさんあるので先輩方に教えてもらい、早く一人前になれるよう頑張っていきたいと思ひます。</p> <p>がんばりまーす！</p>
<p>看護師</p>	<p>榎原祐太郎</p>		<p>金沢医療センター看護学校を卒業し、3病棟に配属になりました。 北陸病院の実習ではスタッフや患者さんと関わり、自分の看護観について一番深く考えることができました。多くのことを学ばせていただきました。これから自分の看護力をもっともっとつけていきたいと思ひます。</p> <p>よろしくおねがいしまーす！</p>
<p>看護師</p>	<p>坪内俊諭</p>		<p>わかかさ病棟に配属となりました、「つぼうち としつぐ」です。 苦手な「あんなことやこんなこと」にもどんどんチャレンジしてスキルアップしたいです。</p> 

職

場

紹

介

のページ

【栄養管理室】

栄養管理室は、管理栄養士、調理師、事務員総勢10名で構成され、患者様に喜ばれる食事を提供できる様努力しています。

当院の患者様は、認知症、統合失調症、重度身体障害者の方が大半ですが、年齢的に高齢となり、嚥下障害、褥瘡等の問題も深刻となって来ています。

このような状況の中で私達は患者様の個々の病態に合わせた安全で食べるのが楽しみになる食事を作っています。

人が生きていくには「医・食・住」の3原則は欠かせません。この中でも「食」については誰にでも1日3回は必ず関わって来る事で、この内容によって人の生活レベルが左右されると言っても言い過ぎではありません。

私達はその「食」のレベルを向上させる為に様々な取り組みをしています。今回この原稿を書くにあたり、一部を御紹介したいと思います。



1. バイキング

毎年4月、5月、6月、9月、10月、11月に3病棟、わかさ病棟を対象にバイキングを行っています。この行事の目的はバランスのとれた食事について覚えて貰う事で糖質、蛋白質、ビタミンの3種類の栄養素を含む料理を数種類用意して、参加された患者様

にお好きな料理を選んで食べて頂き、その後お摂りになった料理がどれだけバランスが取れているか評価し、アドバイスします。この行事は大変好評で患者様から非常に楽しみにされています。



2. 料理教室・おやつ作り

当院では、デイナイトケアに参加された患者様を対象に月2回料理教室を、デイケア参加されている患者様には、月1回おやつ作りを実施しています。これは患者様が自立して生活できる様、支援する目的で行っています。カレーライス、スパゲティ、親子丼等、誰でも知っているメニューを和気あいあいと作っています。



外来担当医表

項目	月	火	水	木	金	
精神科・神経科（初診）	市川	坂本	白石	石崎	細川	
精神科・神経科（再診）	石崎	白石	村田	市川	常重	
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹	
内科	戸部	渡辺	戸部	荒幡	戸部	
専門外来	睡眠（初診）	古田	古田 (セカンドオピニオン)			
	睡眠（再診）		細川	古田・戸部	古田	
	パーキンソン病	小竹(午後)				
	重症心身障害	●受付・診療時間・・・8:30～11:30 ①診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。 ②かかりつけ医がある場合は、紹介状をもらってきてください。 ③睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。(水曜日午後) 【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950				
	アルコール					
	もの忘れ					
ストレスケア						

頑張れ日本!!

この度の東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。1日も早い復旧と皆様のご健康を心より願っております。

まだまだ不安な思いで暮らしている方も多いと思います。一方で復興の兆しの報せも聞こえ、頼もしく感じることもあります。「明けない夜はない」と申します。まずは目の前の問題を一つずつ、解消して行きましょう。頑張るのが辛くなったら、休みましょう。そしてまた、ゆっくり立ち上がるところからやってみましょう。巻頭でもあるように私達も微力ながら応援させていただきたいと思っています。どうか負けないで!

3月22日～25日、被災地の病院へ看護応援に行ってきました。
患者さんはもちろん職員も負けずに頑張っていて、逆に勇気を頂いて帰ってきました。

(副看護師長 津田 政和)

フレ〜フレ〜 日本!!!



【交通アクセス】

◆交通機関

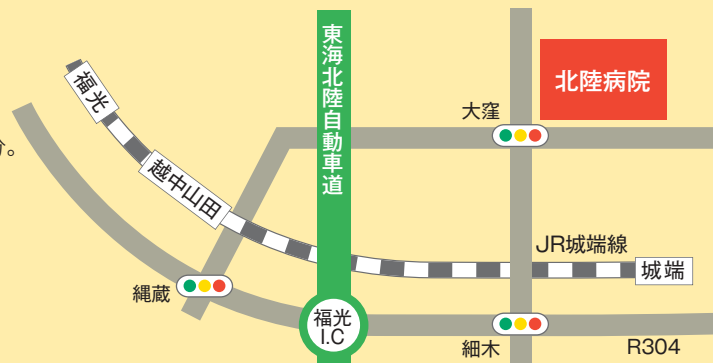
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・上野・前田